

# 立命館法學

2022年第3号

## 論 説

- ジョセフ・W・ピンガムの法思想史的位置 ..... 菊地 諒 (1)  
 議会内反対派の憲法化（3・完） ..... 植松 健一 (30)  
 　　—ドイツの州憲法における反対派条項の理念と運用—
- フランスの市民運動における平和主義と  
 女性の人権との接合 ..... 久保田茉莉 (81)  
 計画確定決定が不可争になった後の救済（1） ..... 湊二郎 (119)  
 犯罪と行為・社会・法益・法的関係（2） ..... 生田勝義 (152)  
 　　—タトゥー事件最高裁判決定を受けて犯罪類型の相対性を考える—
- AIの利活用における刑法上の諸問題（2） ..... 日原拓哉 (188)  
 　　—利用者と製造者の刑事責任を中心に—
- 「あおり運転」に関する  
 2020年交通関連法改正の検討（1） ..... 方牧雲 (253)  
 協議・合意制度における弁護人の役割 ..... 清水拓磨 (280)  
 公判中心主義と被疑者・被告人の権利保障（4） ..... 延秀斌 (306)  
 　　—韓国の刑事訴訟法との比較研究—
- 特定動産譲渡担保・集合動産譲渡担保および動産所有権留保の  
 対抗要件と担保権の優劣を決める基準 ..... 生熊長幸 (362)  
 　　—担保法制の見直しに関する中間試案の取りまとめに向けた検討(3)に寄せて—
- 通信の秘密・データ保護の観点からの「デジタル遺品への  
 相続人のアクセス」に関する批判的考察（1） ..... 白井豊 (413)  
 　　—本家マルティニーの最新動向と新たなTTDSG 4条の規定を中心に—
- 不法行為による損害賠償債務の遅延損害金の  
 起算日と20年期間の起算点 ..... 松本克美 (457)  
 西淀川公害訴訟における共同不法行為論 ..... 吉村良一 (480)  
 　　—公害法理論形成における「理論と実務の協働」(澤井裕教授の事蹟を中心に)—
- 人権条約の下で国家が負う義務の特殊な性格が条約義務不履行に  
 対する締約国のおかげの内容と実施に及ぼす  
 影響について（1） ..... 薬師寺公夫 (529)  
 外交的保護と個人の地位（1） ..... 湯山智之 (559)  
 　　—外交的保護条文の検討を中心に—
- 江戸幕府における贖刑不採用についての一考察 ..... 片保涼介 [一]

## 判例研究

- 人身傷害保険について保険会社が被害者に対して自賠責保険分を含めて  
 一括払することに合意をした場合において、保険会社が自賠責保険から  
 支払を受けた損害賠償額相当額を被害者の損害賠償請求権の額から  
 控除することができないとされた事例に関する考察  
 (最小小判令和4年3月24日) ..... 山田拓広 (609)

## 研究ノート

- 神経法学の序論的考察 ..... 山口直也 (631)  
 大審院（民事）判決の基礎的研究・18 ..... 木村和成 (657)  
 　　—判決原本の分析と検討（大正12年5月分）—